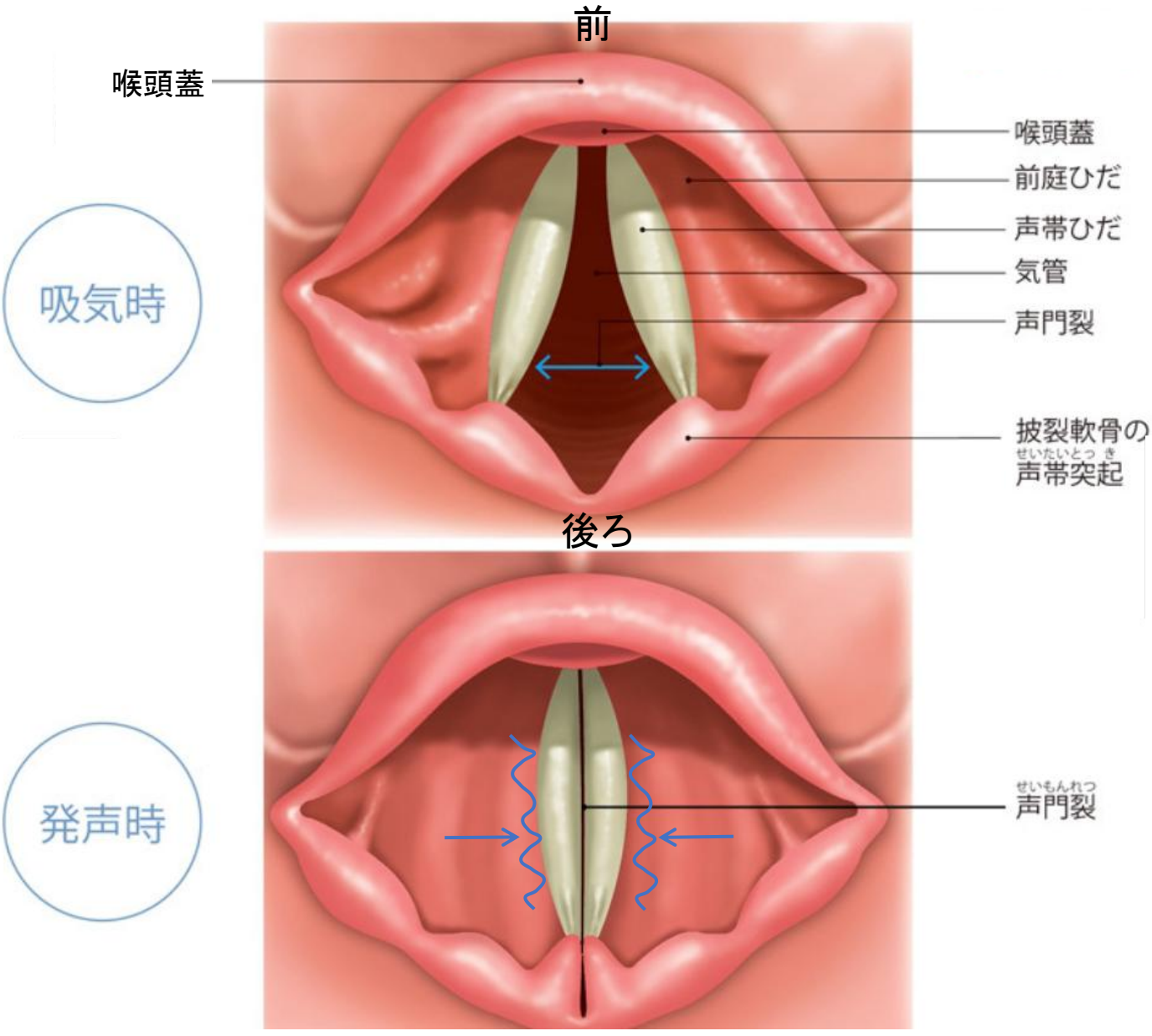
声帯のしくみ



声帯は喉仏の後ろにあり、薄いデリケートな筋肉と粘膜でできています。そのため、声の大きさや音程を喉で無理に調整しようとすると、喉が痛くなったり、声がかすれたりします。
声帯は拡声器ではありません。

呼吸する時は、声帯は開き、息を通します。
発声する時は、声帯は閉じ、空気が声帯にぶつかり振動することによって、音が生まれます。

声が出る要素

動力源：肺
振動のメカニズム：声帯
共鳴部：喉、内耳と鼻　さらには頭部、胸部、身体全体
調音器官：口、舌、歯と唇